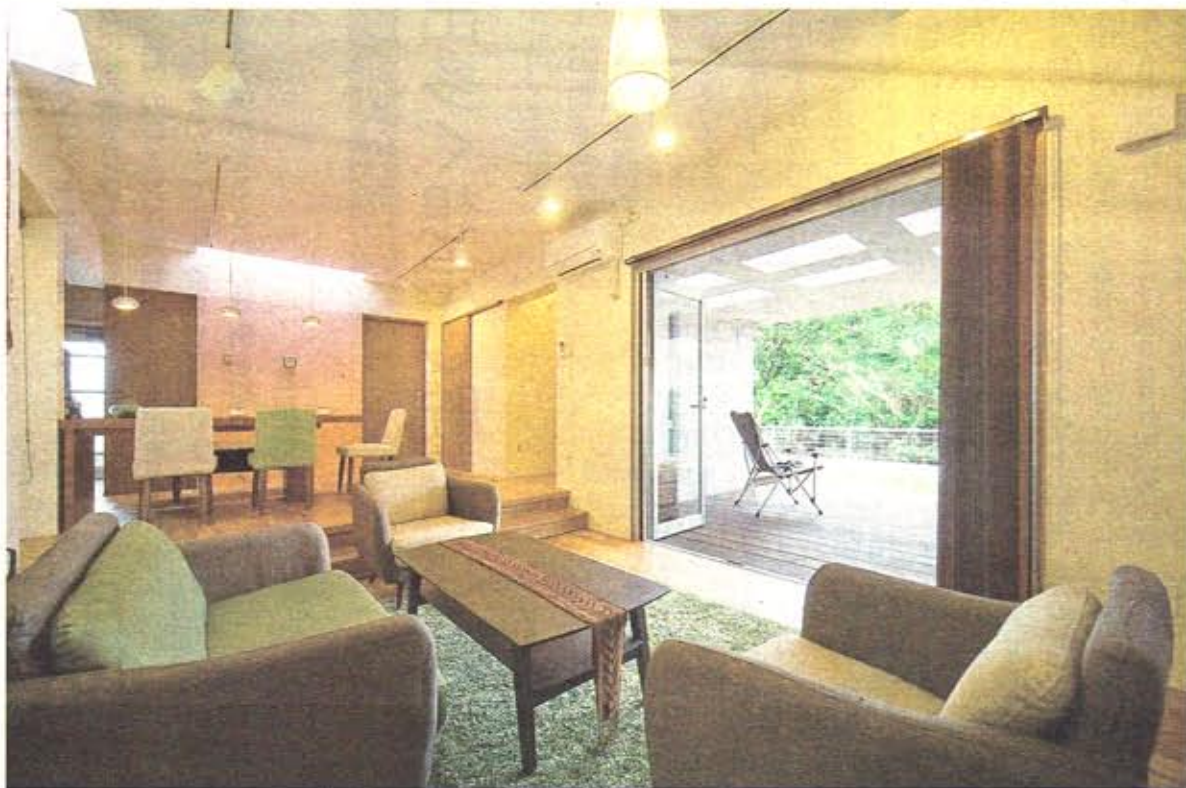


健やかに暮らす

いろいろな場所に心地よい居場所 Kさん宅

住まい柔軟に



それぞれがどの場所に居ても自然と気持ちほぐれ、家族みんなが緩く、近しく、つながりを感じられる。そんな心地よい居場所がたくさんある家は、気持ちにゆとりを生み出してくれる。緑が残る静かな住宅地に建つKさん宅には、デッキスペースや階段、窓辺に向き合うリビングや踊り場など、腰掛けてくつろげる居場所がいっぱい。住み手と作り手が「こんなふうに過ごせたら楽しい」との思いと創造力で実現した、健やかに暮らせる優しい住まいだ。(岸本貴子)

デッキスペースから光や風が流れるリビング。奥の壁はトップライトの光で柔らかな陰影を広げ、奥行き感を出した

木を眺めて暮らす

「この家にいると1日が25時間ある感じ」と夫人が冗談を言うほど、ゆったりとした雰囲気のあるKさん宅。建物内部は高低差や壁の配置の工夫で、いろんな眺めが楽しめる。

内ヒンブンのある玄関を進むと、リビング、そこから床高を2段分上げたダイニングに続き、さらに左奥にキッチン、右奥に浴室が配置されている。リビングは、北側の木々が茂る丘に向かって開いたデッキスペースとつながり、爽やかな風が流れ込む。「夏場はセミの合唱が聞こえ、時々、蜘蛛やハトも遊びに来てました。虫や鳥の鳴き声で季節が感じられる」とKさん。

通常なら、冬場陽光が取り込める南側にリビングを設けると、夫妻はあえて北側に開くよう希望したという。「元々敷地の角に大きなソウシジュの木があったのを気に入ってこの場所に決めたので、いつも木々を眺めたいと思って。大人数で集まる機会も多いので、南側に開くと



玄関の内ヒンブンを左へ進むとダイニングにつながる。キッチンはモザイクタイルで明るい雰囲気。右の壁の後方はクロゼットになっていてぐるりと回れる



内ヒンブンの右奥に設けられた小さな和室。畳も床も足触りが気持ちいいのもこの家の特徴。人が集まった時には待合場所にもなる。壁面の飾り棚に並べられた愛きょうたっぶりの小物が、気さくなもてなしに



内ヒンブンを設け、玄関も部屋の一部として活用。「昔のウチナー家の土間みたいで使いやすい」とKさん

将来家が建った時、近所迷惑になるかもしれないね」と夫人。思い思いでくつろぐ

「住まいを楽しみたい」というKさん一家の遊び心が伝わるのが、壁一面が本棚になった明るい階段スペース(左奥)や和室だ。このほか壁や床下にも広く使いこなせる使える工夫が随所

に。「段差があれば座れる場所になると思い、ダイニングの床高を上げてもらって正解でした。みんな思い思いの所でくつろいでいます」
夫人いわく「設計した赤嶺さんは、動線のプリンス」と称するほど、動線がコンパクトで家事もスムーズにこなせるという。キッチンの勝手口から菜園に、クロゼットの勝手口からは物干し場に入ることができるなど、家全体をフルに活用。デッキはL字型になっていて、天気や時間帯に合わせて洗濯物を干す場所を変えられるので、助かっています。シンプルな造りの中に、生活の基本まで丁寧に考えられているので住みやすい」と夫人。
住み始めて半年。赤土だった前庭には、レンガのアプローチを作り、芝生を張った。家族の楽しい気持ちや手の跡がたくさん重なって、優しい空気が広がる。

撮影/高野生優・フォトアートたかの

楽しみ随所に

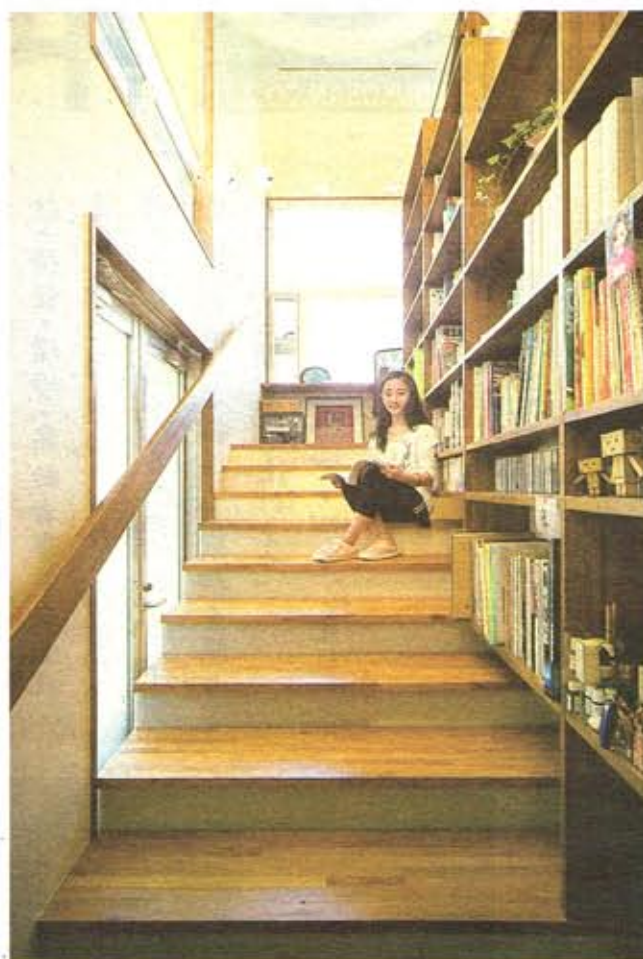
階段がみんなの趣味室 時には「縁側」にも

「好きな本は、みんながいつでも手に取れる所に」というKさん夫妻の希望から生まれたのが、壁一面に本棚があるゆったりとした階段スペース。ステップの一段一段が広く取られているので、上り下りがラクで、いすとしても使える。外の景色を眺めながらのんびり読書をしたり、人が集まった時にはちょっとしたゆんたく場としても重宝する「立体の縁側」だ。床板の肌触りがすべすべしていて、木のベンチのような優しい座り心地。

階段下は照明を取り付け、収納スペースとして活用。ライトアップするとやんわり階段のステップが浮かび上がる。

踊り場にはカウンターも設けてあるので、木々の緑を眺めながらのデスクワークも快適。安定した光が得られる北側の環境を生かした空間。

上下階をつなぎながら趣味室と収納、何役もこなす階段。窓からいっぱいの陽光が降り注ぎ、陽だまりがたくさん



壁の2段活用でスペースを有効活用



Kさん宅の2階は、建築士の提案でからくり部屋のような造りに。2階のベッド横の手すり壁の一部を階段側に倒すと床が伸び、もう一部の壁を開けると個室に早変わり！スペースを有効活用するユニークなアイデア。



階段の踊り場のワークスペース。緑を眺めながら気持ちよく作業ができそう

Data

家族：夫婦、子ども1人
敷地面積：432㎡ (130.68坪)
1階床面積：116.17㎡ (35.14坪)
2階床面積：12.74㎡ (3.85坪)

建ぺい率：35.36% (許容60%)
容積率：29.84% (許容200%)
用途地域：未指定地域
構造：鉄筋コンクリート壁式構造

設計：一級建築士事務所Simple
赤嶺しげたか 上間みちよ
施工：南仲真組
キッチン：収納計画CASA

一級建築士事務所Simple ☎098-974-2500 <http://simple2525.com>

玄関前のアマハジ型ポーチは木の柱を配し程よい目隠しの緩衝帯に

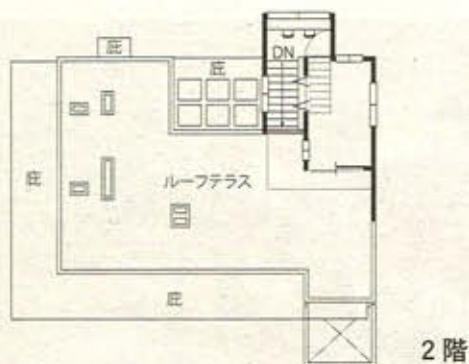


赤嶺しげたかさんに聞く設計ポイント

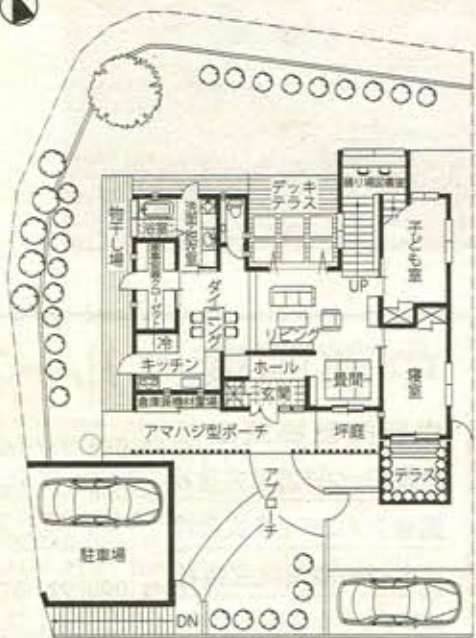
敷地に立つ大きな木の幹に触れ、最初に思い浮かんだKさん宅のキーワードは「やさしくてたのしくてかわいい家」でした。家族のコミュニケーションの取り方や友人や親せきが集まる「時と場」の雰囲気を取り取りながら、できるだけ仕切らず、家事は合理的に、それ以外のことはゆっくりできるような空間構成を目指しました。夫妻から「光が足りない生活だったので、光がほしい」と要望を受け、北側の環境を踏まえつつ開口を工夫。また、2階はベントハウスのように、そして手すり壁を倒して床を広げることでロフトタイプのゲストハウスとなるよう提案しました(右下)。

訪ねる度に緑や小物が増えたり入れ替わっていたり、外も内も表情が変わっていくKさん宅。日々の住まいづくりを楽しんでいるようで、うれしくなります。

平面図



2階



1階

